

福岡県居住者の「暮らし向き」に関する調査

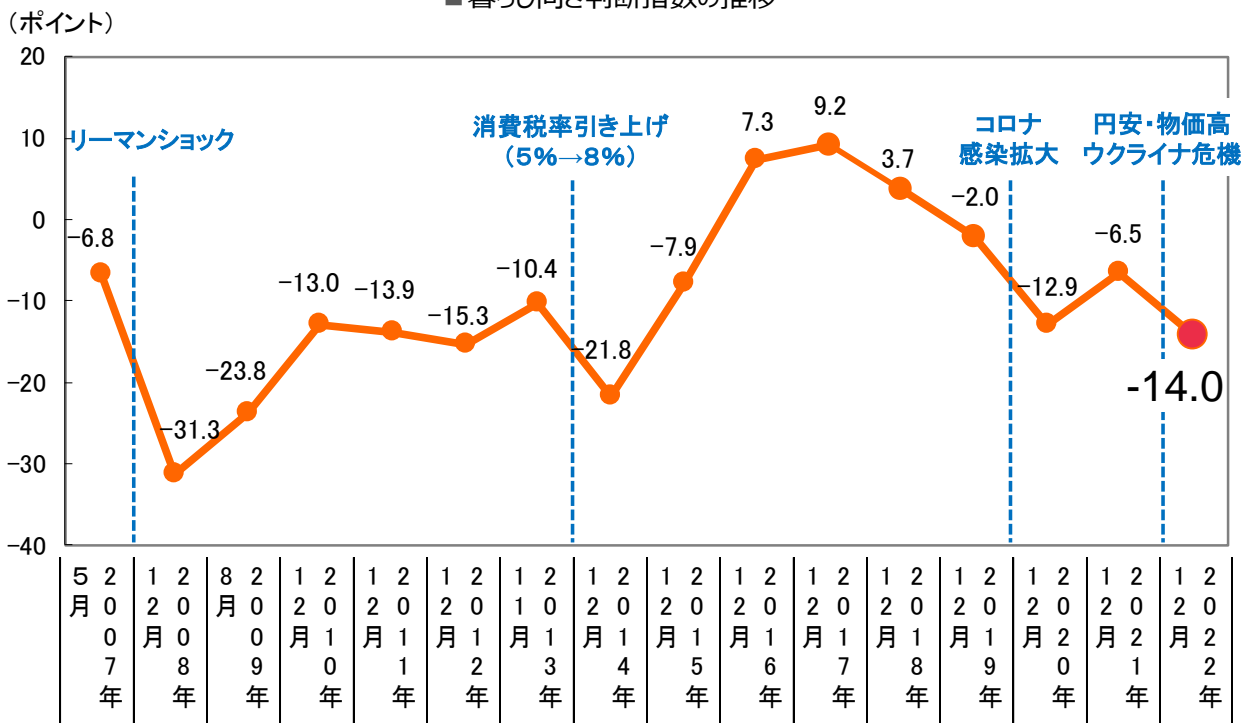
現在の暮らし向きと、2023年の景気予想調査レポート

生活者の暮らし向きは コロナ直後よりも悪化し 過去10年で二番目の低さを記録

毎年定点で観測している福岡県居住者の「暮らし向き判断指数」と2023年の景気予想について、速報で結果をお知らせいたします。この調査は、福岡県内に居住する20歳以上の男女を対象に、現在の暮らし向きの状況や暮らし向き変化の理由、2023年の暮らし向きの予想などについて尋ねています。

- 1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかというと良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかというと悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は-14.0ポイント。コロナの影響を大きく受けた2020年よりもさらに悪化した。
- 年代別では、20・30代はプラスだが、40代以上はマイナスに転じ年代が上がるにつれて低くなっている。特に50代、60代以上が昨年と比べて減少幅が大きい。
- 世帯年収別では、700万円未満層はマイナス10ポイント以下であり、昨年からの減少幅も顕著である。

■ 暮らし向き判断指数の推移



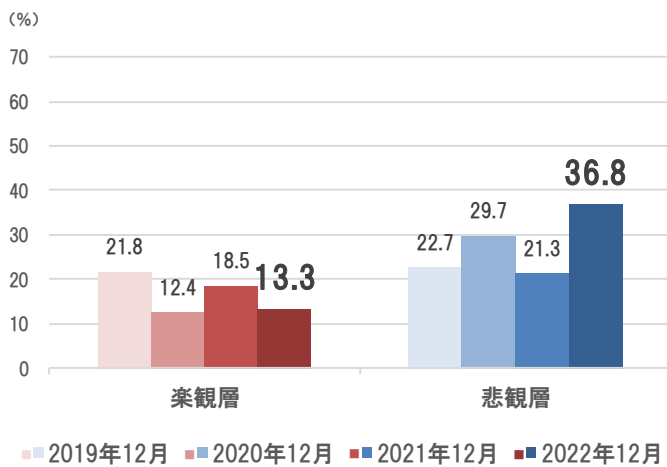
*暮らし向き判断指数とは、1年前と比較して暮らし向きが「良くなった」「どちらかというと良くなった」と回答した「肯定層」の割合から「悪くなった」「どちらかというと悪くなった」と回答した「否定層」の割合を減じた値

2023年の世の中の景気について、楽観層は直近4年間で最低。

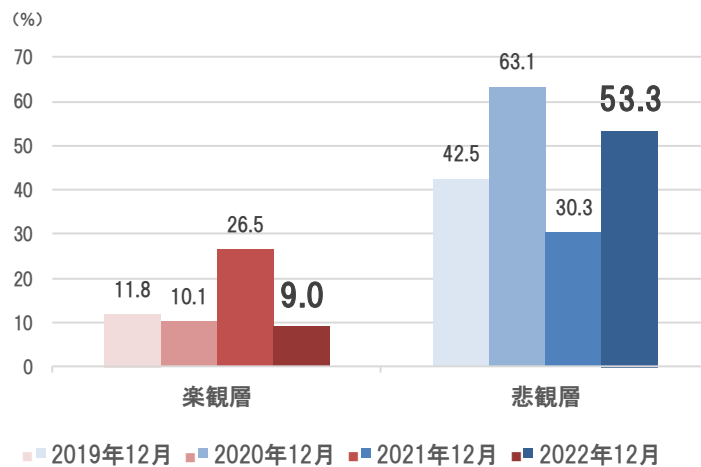
- 2023年の「自分自身の暮らし向き」と「世の中の景気」について、良くなるか悪くなるかそれぞれの予想を回答してもらったところ、「悪くなる」「どちらかというと悪くなる」と回答した悲観層は、どちらも昨年より大幅に増加し、特に「世の中の景気」については、20ポイント以上増加して半数以上が悲観的と回答した。
- 特に「世の中の景気」の楽観層は直近4年で過去最少の9.0ポイントである。
- 「世の中の景気」は性や年代別に見ても大きな差はなく、全般的に悲観層の割合が高い。一方、「自分自身の暮らし向き」の悲観層は60代以上で他の年代より高い結果となった。

■ 2023年の自分の暮らし向きと世の中の景気予想【単一回答】

自分自身の暮らし向き



世の中の景気



* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかというと良くなる」、悲観層＝「悪くなる」「どちらかというと悪くなる」

■ 本調査の概要

調査方法	インターネット調査
調査対象	福岡県在住の20歳以上の男女
調査規模	400サンプル
調査時期	2022年12月16日（金）～12月23日（金）

詳しい調査データは1/16公開。詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

【発行元：株式会社ジーコム】

福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル7F
TEL 092-761-0221 FAX 092-761-0228
<https://www.gcom-net.co.jp/>
inq@gcom-net.co.jp

九州・福岡でマーケティングを35年。
ジーコムは、マーケティング・リサーチとビジネス・コンサルティングの専門会社です。